

事業コード	H28-建-継-02		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	改築(現道改良・バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	大館能代空港西線		担当課長名	菅原 喬
箇所名	北秋田市・鷹巣西道路		担当者名	長谷川 一仁
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	01	施策目標(指標)名	高速道路ネットワークの早期完成

## 1. 事業の概要

事業期間	H24 ~ H32(9年)	総事業費	66.0億円	国庫補助率	7/10																																																												
事業規模	○延長L=5,250m 幅員W=7.0(13.5)m																																																																
事業の立案に至る背景	<p>本路線は大館能代空港にアクセスする道路で、国道7号と国道105号を短絡する道路としても利用される重要な路線である。</p> <p>また、平成24年に日沿道「二ツ井白神～あきた北空港間」の一部を構成することとなり、隣接する「鷹巣大館道路」の供用時期に合わせ事業を実施することにより、高速道路の連続性が図られることからミッシングリンクが解消され利用者の利便性が向上するものである。</p>																																																																
事業目的	<p>○現道活用案による自動車専用道路として、速達性、定時性の確保(日本海沿岸東北自動車道)</p> <p>○線形不良区間の解消(小ヶ田踏切部の屈曲)</p> <p>○交差点部の立体化</p> <p>○空港アクセス性の向上(大館能代空港)</p>																																																																
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>評 価 時</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>5,500,000</td> <td>6,600,000</td> <td>1,100,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>4,850,000</td> <td>5,334,975</td> <td>484,975</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>500,000</td> <td>720,284</td> <td>220,284</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>150,000</td> <td>544,741</td> <td>394,741</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  国庫補助</td> <td>3,850,000</td> <td>3,966,795</td> <td>116,795</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県債</td> <td>1,485,000</td> <td>1,530,050</td> <td>45,050</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td></td> <td>933,150</td> <td>933,150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>165,000</td> <td>170,005</td> <td>5,005</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工</td> <td></td> <td>平成24年に自専道として整備することとなり、施工範囲が延長され3,610m→5,250mとなったため。</td> </tr> </tbody> </table>						計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	事業費	5,500,000	6,600,000	1,100,000		経費内訳					工事費	4,850,000	5,334,975	484,975		用補費	500,000	720,284	220,284		その他	150,000	544,741	394,741		財源内訳					国庫補助	3,850,000	3,966,795	116,795		県債	1,485,000	1,530,050	45,050		その他		933,150	933,150		一般財源	165,000	170,005	5,005		事業内容	調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工		平成24年に自専道として整備することとなり、施工範囲が延長され3,610m→5,250mとなったため。
	計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等																																																													
事業費	5,500,000	6,600,000	1,100,000																																																														
経費内訳																																																																	
工事費	4,850,000	5,334,975	484,975																																																														
用補費	500,000	720,284	220,284																																																														
その他	150,000	544,741	394,741																																																														
財源内訳																																																																	
国庫補助	3,850,000	3,966,795	116,795																																																														
県債	1,485,000	1,530,050	45,050																																																														
その他		933,150	933,150																																																														
一般財源	165,000	170,005	5,005																																																														
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工		平成24年に自専道として整備することとなり、施工範囲が延長され3,610m→5,250mとなったため。																																																													
事業の進捗状況	○平成27年度末で事業進捗率43%(用地進捗率99%)。																																																																
事業推進上の課題	○埋蔵文化財調査(小勝田館遺跡)																																																																
関連する計画等	○日本海沿岸東北自動車道「鷹巣大館道路」																																																																
情勢の変化及び長期継続の理由	<p>平成23年 新規箇所評価実施</p> <p>平成24年 自専道整備決定</p> <p>平成27年 鷹巣西道路終点～(仮)あきた北空港ICを国が実施することに決定</p>																																																																
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標 名</th> <th colspan="2">県道改良率</th> <th>低減指標の有無</th> <th>○ 有 ● 無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指 標 式</td> <td colspan="2">整備率(整備済み延長/路線実延長)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指 標 の 種 類</td> <td>○ 成果指標</td> <td>● 業績指標</td> <td>データ等の出典</td> <td>道路課調べ</td> </tr> <tr> <td>目 標 値 a</td> <td colspan="2">73.3 %</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績 値 b</td> <td colspan="2">74.7 %</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">102 %</td> <td>把握の時期</td> <td>平成28年 4 月</td> </tr> </tbody> </table>					指 標 名	県道改良率		低減指標の有無	○ 有 ● 無	指 標 式	整備率(整備済み延長/路線実延長)				指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	データ等の出典	道路課調べ	目 標 値 a	73.3 %				実 績 値 b	74.7 %				達成率 b/a	102 %		把握の時期	平成28年 4 月																														
指 標 名	県道改良率		低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																													
指 標 式	整備率(整備済み延長/路線実延長)																																																																
指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	データ等の出典	道路課調べ																																																													
目 標 値 a	73.3 %																																																																
実 績 値 b	74.7 %																																																																
達成率 b/a	102 %		把握の時期	平成28年 4 月																																																													

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	○物流の効率化や交流の促進を図るとともに災害時の防災ネットワークの確立を達成するためには、早期に高速ネットワークを完成させる必要がある。 ○自専道として整備することにより、ミッシングリンクが解消され速達性、定時性が確保できる。	7 点
緊 急 性	○日本海沿岸東北自動車道として整備効果をより高めるためには、早期に当工区を供用させる必要がある。	15 点
有 効 性	○第一次緊急輸送路であり、災害時の物資輸送の緊急道路としての重要性は高い。 ○北秋田二次医療圏の核となる北秋田市民病院へのアクセス道路としての活用も見込まれる。	30 点
効 率 性	○事業の費用便益比 (B/C) は 2.0 であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 77 億円 ・総便益の現在価値 151 億円 ○計画交通量は10,800台となっている。	15 点
熟 度	○平成27年度末の事業進捗率は43%である。	15 点
判 定	ランク ( <input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III ) 緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	82 点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

引き続きコスト削減に努めながら、事業を継続する。
--------------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。   
--------------------------

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）

事業コード ( H28-建-継-02 )  
箇所名 ( 北秋田市・鷹巣西道路 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	5		
		・車道幅員<5.5m	2箇所	5			
		・最小半径<100m	1箇所	3			
		・最急勾配>5%	0箇所	0			
		・冬期堆雪巾なし					
	道路環境上の欠陥該当項目	・現道の混雑度 $\geq 1.0$	5件該当	7	2		
		・現道の旅行速度 $\leq 30\text{km/h}$	4件該当	6			
		・現道の事故率 $\geq 50$ 件	3件該当	5			
		・通学路指定で歩道なし	2件該当	4			
		・重大交通事故が発生	1件該当	2			
			該当項目なし	0			
	計		15	7			
	緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無	あり	10	10	
			・県の主要プロジェクト	あり	0		
			・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業				
緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等		あり	5	5			
		なし	0				
計		15	15				
有効性	道路の位置づけ	緊急輸送道路	第一次輸送路	10	10		
		第二次輸送路	8				
		第三次輸送路	6				
		指定なし	0				
	救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	10	10			
		間接的に補完する	6				
		アクセスへの貢献は小さい	3				
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10			
		低下傾向	6				
		必要性が低い	3				
計		30	30				
効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5		
		1.0未満	0				
	計画交通量	5,000台/日以上	5	5			
		1,000台/日以上~5,000台/日未満	3				
		1,000台/日未満	0				
	コスト縮減	あり	5	0			
		なし	0				
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5			
既投資額の部分的損失		4					
既投資額の損失が少ない		3					
計		20	15				
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	5		
			5割以上完了	8			
			1割以上完了	5			
		1割未満	2				
		用地買収の進捗(面積)	8割以上完了	10			10
	5割以上完了		8				
	1割以上完了		5				
	1割未満	2	0				
未着手	0						
計		20	15				
合計			100	82			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		